

なくそう！工事現場からの火災

全国的に、工事中の溶接・溶断で発生する火花が飛散、落下することによる火災が多数発生しています。当消防本部管内においても過去に建物の解体作業中に火災となった事例もあります。

溶断の火花は広範囲に飛散・落下することがあります。同種の火災を起こさないよう、次の工事中の火災予防対策を徹底し、火災予防に万全を期していただくようお願いします。

火気を使用する際は、付近に断熱材等の可燃物がないことを確認



火気周囲を不燃材シート等で遮へい、消火器等の準備



溶接等の作業場周辺の点検や作業中の監視



作業前後には以下の点をご確認ください。

- ・周囲に可燃物がないか確認
- ・火花飛散防止の措置を徹底
- ・作業後の火元監視(最低30分以上)
- ・消火器の設置と使用方法の周知
- ・火災発生時はすぐに119番通報

一人ひとりの注意が、大きな火災を防ぎます。
安全な現場づくりにご協力をお願いいたします